

【共通の設問】 次の傍線部はどの音便か答えよ。(答え・解説は解答編)

【第1部】 基礎編 (Q1~Q20)

Q1.

文を書いて奉る。

Q2.

舟を漕いて行く。

Q3.

鳥飛んで去りぬ。

Q4.

立って見れば。

Q5.

昔を思うて泣く。

Q6.

文を読んで聞かす。

Q7.

花咲いてにほふ。

Q8.

太刀を取って立つ。

Q9.

人を笑うて興ず。

Q10.

馬を呼んで乗る。

Q11.

道を急いて行く。

Q12.

敵を待って構ふ。

Q13.

鐘撞いて知らず。

Q14.

物を買うて帰る。

Q15.

罪人死んで果てぬ。

Q16.

縄を切つて放つ。

Q17.

嘆いて臥しぬ。

Q18.

子を喜んで抱く。

Q19.

手を払うて立つ。

Q20.

馬に乗つて駆く。

## 【第2部】標準編 (Q21~Q50)

Q21.

白い雲のたなびく。

Q22.

雪を踏んで歩く。

Q23.

顔白うて美し。

Q24.

杖をついて歩む。

Q25.

文を申して奉る。

Q26.

名を呼んで招く。

Q27.

勝つて喜ぶ。

Q28.

美しいい花を見る。

Q29.

笛を吹いて遊ぶ。

Q30.

主を慕うて泣く。

Q31.

都に住んで年経ぬ。

Q32.

庭を掃いて清む。

Q33.

物を返して去る。

Q34.

高い山を望む。

Q35.

縄を結んで締む。

Q36.

花散つて跡もなし。

Q37.

うれしう思ひ侍り。

Q38.

風防いで立つ。

Q39.

雨をいとうて籠る。

Q40.

火を消して寝ぬ。

Q41.

薪を積んで火を焚く。

Q42.

都へ帰つて住む。

Q43.

悲しいこと多し。

Q44.

鐘を撞いて暁を告ぐ。

Q45.

米を積んで蔵に納む。

Q46.

人を頼んで待つ。

Q47.

露を踏んで行く。

Q48.

多うの人集まる。

Q49.

紙を漉いて作る。

Q50.

文を渡して去りぬ。

### 【第3部】 応用編 (Q51~Q80)

Q51.

主を恋ひ慕うて泣く。

Q52.

友、先に往んでけり。

Q53.

弓引いて射る。

Q54.

玉を磨いて飾る。

Q55.

旗を立つて進む。

Q56.

器に水を注いで満たす。

Q57.

罪人とらへて縛つて引く。

Q58.

香を嗅いで知る。

Q59.

恐ろしうこそ覚ゆれ。

Q60.

母を呼んで泣く。

Q61.

文を写して留む。

Q62.

道を歩いて巡る。

Q63.

太刀打つて戦ふ。

Q64.

めでたう侍る。

Q65.

矢を継いで射る。

Q66.

敵を睨んで立つ。

Q67.

山賊去つて後静かなり。

Q68.

近い所に宿る。

Q69.

帯を解いて寛ぐ。

Q70.

酒を酌んで人に勧む。

Q71.

道問うて尋ぬ。

Q72.

弓を負うて立つ。

Q73.

波を凌いで海を渡る。

Q74.

物を盗んで逃ぐ。

Q75.

縄を固う結ぶ。

Q76.

鳥羽撃つて落とす。

Q77.

名を記して残す。

Q78.

賊往んで跡なし。

Q79.

良い事を聞く。

Q80.

雪搔いて道つく。

#### 【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

Q81.

旅の空にて、故郷を思うて涙ぐむ。

Q82.

矢継ぎ早に弓を引いて射る。

Q83.

敵を追うて山深く入る。

Q84.

大将討たれて、軍勢みな逃げ散つてけり。

Q85.

鐘を撞いて、夜半を知らず。

Q86.

老いの身を恨んで、世を厭ふ。

Q87.

いみじう恐ろしいい夢を見たり。

Q88.

主君の仰せを承つて、急ぎ参る。

Q89.

文をしたためて、使ひに渡して遣はす。

Q90.

笛をいとめでたく吹いて、人々めづ。

Q91.

大水出でて、橋を呑んで押し流す。

Q92.

馬を進めて、川を渡つて向かふ。

Q93.

心に深く恥ぢ入つて、物も言はず。

Q94.

兵ども、櫓を組んで守る。

Q95.

月いと明らかにして、道白う見ゆ。

Q96.

帝、いたく驚いて、人を召す。

Q97.

老法師、つひに往んで帰らず。

Q98.

大臣、座を立つて出で給ふ。

Q99.

御簾を巻いて、月を眺む。

Q100.

涙にむせんで、言葉もつづかず。